

《2024年度 学校関係者評価書》

学校法人吉備学園
岡山商科大学専門学校
校長 豊福 尚男

2024年度の学校関係者評価（2025年2月22日開催の第2回学校関係者評価委員会で実施）を行ったので、その結果を次のとおり公表する。

記

1. 学校関係者評価委員名

所 属 等	種 別
全国旅行業協会岡山県支部 支部長 田中 雅彦	企業
岩本 伸也	卒業生
松村 知恵	保護者
京山地区育成協議会 顧問 吉本 賢二	地域関係者
学校法人吉備学園 専務・事業理事 (法人事務局長) 三浦 一男	学校法人

2. 学校関係者評価結果、評価委員の提言及び提言に対する学校の改善方策

※評価基準 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

【学校及び評価委員の評価結果の数字は、学校教職員及び評価委員の平均評価「小数点第1位まで表示（小数点第2位を四捨五入）」】

〈1：教育理念・目標〉

評 価 項 目	評 価	
	学 校	委 員
①学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	3.9	3.8
②学校の教育理念等の達成に向けた取組を行っているか	3.7	3.4
③社会の変化・ニーズなどに対応した将来的な展望を描いているか	3.6	3.4

〈2：学校経営〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学校経営目標を達成するための事業計画を定めているか	3.9	3.4
②学校経営のための組織を整備しているか	3.9	3.4
③人事・給与に関する規定等を整備しているか	4.0	3.6

〈3：教育活動〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	3.6
②キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.5	3.4
③授業評価を実施しているか	3.4	3.6
④成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	3.4
⑤教職員の資質向上のための取組を行っているか	3.5	3.2

〈4：学修成果〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①大学進学及び就職率向上のための取組を行っているか	3.7	3.2
②国家試験合格率・資格取得率向上のための取組を行っているか	3.7	3.8
③卒業生の社会的な活躍及び評価を把握し、それを学校の教育活動の改善に活用しているか	3.3	3.2

〈5：学生支援〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①進学・就職に関する支援体制を整備しているか	3.7	3.2
②学生相談に関する体制を整備しているか	3.8	3.4
③学生に対する経済的な支援体制を整備しているか	3.7	3.2
④学生の健康管理を担う組織体制を整備しているか	3.5	3.2
⑤課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.7	3.4
⑥退学・除籍率低減のための取組を行っているか	3.8	3.4

〈6：教育環境〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①施設を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.3	3.2
②設備を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.4	3.2
③学内における安全管理体制を整備しているか	3.8	3.2
④防災に対する組織体制を整備しているか	3.9	3.4

〈7：学生の受け入れ募集〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	3.6	3.2
②入学選考基準を明確にして、適正に入学選考を実施しているか	3.8	3.4
③学納金は妥当なものとなっているか	3.8	3.2

〈 8 : 財 務 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①中長期的に学校の財務基盤が安定するよう取組を行っているか。	3.6	3.4
②予算・収支計画に基づき、適正に予算執行管理を行っているか	3.8	3.4
③財務について適正に監査が行われているか	3.9	3.6
④財務情報を公開しているか	3.9	3.6

〈 9 : 法令等の遵守 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか	3.8	3.4
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9	3.4
③自己評価や学校関係者評価を実施し、問題点等の改善を行っているか	3.9	3.4
④自己評価結果や学校関係者評価結果を公開しているか	3.9	3.6

〈 10 : 社会貢献・地域貢献 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	3.6	3.2
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	3.2

〈 11 : 国際交流 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①留学生の受入れと在籍管理が適切になされているか	3.9	3.6
②留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.8	3.4
③留学生と日本人学生の交流は図られているか	3.8	3.4

〈１２：評価委員の提言【評価項目１～１１についての総括的な意見】〉

- ①今後、より一層の経営努力により、収支の黒字化を目指してもらいたい。
- ②岡山商科大学へ３年次編入できる唯一の学校としてのメリットを活かし、メディアを活用するなどして知名度を上げてほしい。
- ③少子化により学生減は避けられない状況で、中小企業は人手不足で困っている。職場体験などを通じ、企業と連携し、企業と学生がWIN-WINの関係を作ってほしい。
- ④物価高騰、一人親などで経済的に苦しい学生に何か支援できることがあれば支援をしてほしい。
- ⑤おかやま旅プランコンテストをもっとアピールして、募集範囲を広げたらどうか。

〈１３：評価委員の提言に対する学校の改善方策〉

- ①適切な在籍管理を行い、除籍・退学者数を極力減らして授業料等収入を確保し、また電気料金、消耗品費などの経費節約を行い、支出を抑えて収支の黒字を目指している。
- ②効果的な広報活動【**ワイド**（各種のデジタルサイネージと県立図書館の雑誌広告）&**スポット**（地域と年齢を限定したInstagram、FaceBookやTVer広告）】の展開や高等学校、日本語学校との連携を深めるなどして、学校の名前を広めている。
- ③オープン・カンパニーなど企業が開催するイベントに多くの学生を参加させており、この機会に、企業は優秀な学生の発掘を得るチャンスとなり、また、学生は将来、自分の強みが生かせる職業分野や興味のある職種への適性などを知るキッカケとなるので、今後も引き続き、多くの企業との連携を深めていきたい。
- ④留学生には、家賃の安い学園所有の学生寮の提供や日本語能力検定合格者への授業料減免や奨学金支給を行い、日本人学生には、借間等の家賃補助や修学支援新制度活用による授業料と入学金の減免を行っている。また、成績が優秀、出席率が良好等の学生（留学生・日本人）には、学校独自の奨学金を支給している。
今後、学生に対する支援の幅を順次広げていきたい。
- ⑤岡山県の魅力、旅の楽しさなどを県内外の人々に発信する「おかやま旅プランコンテスト」を２０２５年度は、「春から夏の岡山を再発見」として、津山市観光協会も後援に加わり、また、取組・募集期間も５月～１月とした。